

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市左京区高野泉町計画 新築工事	階数	地上4F
建設地	京都市左京区高野泉町6番109(一部)	構造	RC造
用途地域	都市計画地域内(市街化区域)	平均居住人員	118 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,400 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 竣工	評価の実施日	2019年4月9日
敷地面積	1,372.30 m ²	作成者	藤原 武士
建築面積	817.51 m ²	確認日	2019年4月11日
延床面積	2,739.82 m ²	確認者	平野哲也



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	62%
③上記+②以外の	61%
④上記+	61%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.6**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

音環境	3.0
温熱環境	2.0
光・視環境	2.0
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.1
耐用性	3.0
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.5**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	4.5
地域環境	2.3
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>Q1 室内環境</p> <p>外壁面・屋根面等に断熱材を採用した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p>
<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>出来る限り植え込み(植栽)を設けた。又駐輪場も設置した。</p>	<p>LR1 エネルギー</p> <p>照明器具はLEDの採用で消費電力の軽減になるよう努め、また太陽光を採用した。</p>
<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体と内部仕上げ材はGL工法採用で分別容易にしている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される